

## 海外安全対策情報(ウルグアイ)2022年第2四半期(4月～6月)

### 1 治安・社会情勢

当地の治安情勢については、2021年4月～6月と比較すると犯罪発生件数が増加しており、特に殺人発生件数は約39%増加しました。引き続き殺人、強盗、窃盗被害に注意が必要です。

また、ウルグアイ各地の治安対策及びDV事案対応件数の増加のため、慢性的な警察官の人員不足が生じているところ、日頃から安全対策の意識を上げることが重要です。

### 2 一般犯罪、凶悪犯罪の傾向

#### (1)殺人・強盗・窃盗

2022年4月～6月の殺人、強盗及び窃盗発生件数は、前年同時期と比較すると殺人+39.7%、強盗+4%、窃盗-2%となりました。

2022年1月～6月では、殺人+39.3%、強盗-1.7%、窃盗+2.4%と殺人発生件数が著しく増加しており、ウルグアイ内務省の発表によると、殺人の原因は、犯罪組織間や麻薬密売に関わる抗争や報復によるものが50%を占めており、次にDV及びDVに起因するものが14%、犯人に対抗する等の偶発的なものが11%、強盗や占拠行為によるものが5%、その他が4%、原因不明が15%です。また、ウルグアイ全土における麻薬犯罪対策をはじめとする治安対策が進められており、特にモンテビデオ市郊外がその対象地域の中心となっています。5月にはモンテビデオ市ペニャロール地域の治安が悪化しました。

昨今の一般犯罪は昼夜問わずに発生しており、銃器や刃物を使用した事件も増加しています。(ウルグアイ国内において登録済銃は約60万丁であり、同等数の銃が不法に出回っていると言われていたため、国民の3人に1人が銃を所持している計算となります。)

また、従来比較的安全と言われていた地区においても事件が発生しているため、殺人、強盗、窃盗等の犯罪被害には引き続き注意が必要です。

#### ○2022年4月～6月の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 88件(前年同時期に比して 39.7%増)
- ・強盗 : 5,728件(前年同時期に比して 4.0%増)
- ・窃盗 : 26,836件(前年同時期に比して 2.0%減)
- ・DV : 8,380件(前年同時期に比して 9.6%増)

#### ○2022年1月～6月の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 188件(前年同時期に比して 39.3%増)
- ・強盗 : 12,193件(前年同時期に比して 1.7%減)
- ・窃盗 : 58,250件(前年同時期に比して 2.4%増)
- ・DV : 18,634件(前年同時期に比して 11.1%増)

#### (2)事案一覧(邦人在留エリア対象)

別紙参照。

### 3 テロ・爆発事件発生状況

事件は報告されていません。

### 4 邦人被害の犯罪発生状況

2022年第2四半期における邦人被害は発生しませんでした。

#### <注意点>

強盗事件等は、基本的には夜間の人通りの少ない場所において発生する傾向が強いですが、時間や場所を問わずに発生しています。また、昨今の犯罪には拳銃等が凶器として利用されることが多くなっています。外出する場合には様々な形態の犯罪に遭遇する可能性を念頭に、周囲に警戒しながら行動するよう心がけてください。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨今、ウルグアイ国内において、けん銃や凶器を使用した強盗事件が多発しています。また、一般的に外国人は「裕福」と見られているため、日本企業及びその関係者が強盗や誘拐の標的となる可能性も排除できません。仮に強盗事件に遭遇した場合には、抵抗する・大声を上げる・逃げる等犯人を刺激するような行動はくれぐれも避けてください。

また、日頃より「安全のための3原則」である、「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」を心がけ、「自分の身は自分で守る」ことを意識しながら行動することが肝要です。

<犯罪事案一覧(邦人在留エリアを対象とした主なもの)>

発生日時	発生場所	事案種類	概要
4月8日	モンテビデオ県 カラスコ・ノルテ 地区	殺人	男性(28歳)が銃撃を受け病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。同男性は隣人と長期間にわたり問題を抱えていたとのことだが、詳細は捜査中である。
4月10日	モンテビデオ県 イツウサインゴ地 区	銃器不法所 持	巡回中の警察官が不審な車両に対し停車するよう求めたが、逃走。追跡中、逃走車が障害物に衝突し停車し、同車に乗車していた3人の男(18歳～20歳)を逮捕した。車内からは複数の銃等が押収された他、同車は違反、違法行為を行ったとして登録されていた。
4月17日	モンテビデオ県 セロ地区	殺人	男性(33歳)が殺害されているのが発見された。遺体から、同男性がけん銃を所持していたことが確認された。また、犯罪歴があり、犯罪組織間の争いによるものであるとして、警察は詳細を捜査している。
4月21日	モンテビデオ県 ランブラ・スル地 区	殺人	同地区の川岸より、人の切断された胴体部が発見され、その周辺より他の部分も発見された。遺体には計17箇所の刺し傷があり、麻薬組織関係による犯罪であるとして捜査されている。また、警察によると、被害者は44歳のウルグアイ人男性で窃盗の前科があったことが確認された。
4月24日	モンテビデオ県 レシカ地区	殺人	男性(25歳)が複数人からの暴行及び発砲を受けたことにより死亡した。目撃者等の証言によると、同男性は窃盗・強盗犯として追跡されており、民家に侵入し庭に隠れていたが、追跡者達により確保され、集団暴行の被害に遭ったとのこと。警察の調べでは、死亡した男性は前科があった。
5月1日	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	殺人	3人組の男性(兄弟とその友人)が家の前で、通りすがりの車に乗っていた犯人から銃撃を受けた。銃撃により3人組のうち1名(28歳)が死亡し、他2名は足や腕に銃弾を受けた。
5月3日	モンテビデオ県	殺人	男性(30歳)の遺体が発見された。遺体は焼かれており、頭に銃弾を受けた痕があった。
5月3日	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	殺人	警察官が道路脇の溝で男性の遺体を発見。遺体は銃弾を受けた痕が残っていた。

5月3日	モンテビデオ県 セロ地区	殺人	バイクを運転中の男性が何者かに狙撃され死亡した。
5月3日	マルドナド県 サン・カルロス地区	殺人	警察官が道路に倒れている男性を発見したが、既に死亡していた。遺体には銃弾の痕があった。
5月9日	モンテビデオ県 シウダ・ビエハ地区	麻薬	警察の家宅捜査により、多数の薬物や多額の現金を押収し、同家に住んでいた女(22歳)と男(32歳)が逮捕された。男はその後解放された。
5月11日	モンテビデオ県 ペニャロール地区	殺人	牧草地において火災が発生し、その中から女性とみられる切断され焼かれた遺体を発見。また、その後の調査により、同場所から更に3名の遺体が発見された。
5月11日	モンテビデオ県 ペニャロール地区	殺人	被害者宅の隣人より警察に通報が入り、駆け付けた警察官により複数の銃撃を受けた男性の遺体が確認された。
5月20日	モンテビデオ県 マルビン・ノルテ地区	殺人	男性(36歳)が自宅にて手足を縛られ窒息死しているのを、同居していた姉が発見し警察へ通報。詳細は捜査中。
5月20日	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	窃盗	男3人グループが窃盗目的で家へ侵入。テレビや携帯電話を盗み、逃走しようとしていたところ、住人より銃撃を受け犯人2名が重傷。残りの1名は殴打による傷を受けた。
5月24日	モンテビデオ県 コロソ地区	殺人	通報を受けた警察が、同地区の道路上に倒れている男性(21歳)を発見。男性の体には複数の銃撃を受けた痕があり、搬送先の病院にて死亡が確認された。
5月24日	モンテビデオ県 パルケ・バジェ地区	麻薬	警察による家宅捜索により、同地区の家からマリファナ:3.5kg、麻薬の箱:446個、エクスタシー:96錠、コカイン:1kg、コカインのペースト:500g、現金5,000米ドル、15,000ウルグアイペソ、携帯電話等が押収され、22歳の男が現行犯逮捕された。
5月26日	モンテビデオ県 セロ地区	殺人	男性が大きな刃物で切りつけられ、搬送先の病院で死亡した。男性は2016年に発生した、女性の拉致及び殺害事件の容疑で刑務所に収監されていた。
5月28日	モンテビデオ県 アンテル・アリーナ付近	殺人	自転車で走行中の男性が急に転倒し、警察病院に搬送されたが、まもなくして死亡した。男性の体には銃撃を受けた痕が残っていた。

6月1日	モンテビデオ県 サシャーゴ地区	強盗	2人組の男(19歳、25歳)がパン屋(Calle Ariel y Av. Garzón)を強盗目的で襲撃し逃走したが、駆け付けた警察官により逮捕された。 犯人の男等は拳銃を1丁ずつ所持していた。
6月3日	モンテビデオ県 アイレス・プロス地区	強盗	男性が車で帰宅し家の扉の鍵を開けていた際、付近に停車した車から2人組の男が降りてきて、拳銃で脅し車を奪い逃走。
6月4日	モンテビデオ県 パルケ・ロド地区	窃盗	コッセ・モンテビデオ県知事の自宅から宝石類等が盗まれた。犯人等はテラスから侵入したとみられているが、詳細は捜査中である。
6月12日	カネロネス県 ピナール地区	麻薬	イタリア人男(54歳)とウルグアイ人男(21歳)が乗車していた車より、コカイン:139g、TUSSEI:80g、エクスタシー:92錠及び、その他薬物や現金、携帯電話4台が押収され、同車を運転していたイタリア人の男が逮捕された。
6月14日	モンテビデオ県 ペニャロール地区	傷害	被害者の男性(31歳)がパートナーと共に自宅にいた際、銃撃による襲撃に遭い負傷し、病院へ搬送された。犯行動機などに関する詳細は捜査中である。
6月20日	モンテビデオ県 マルビン・ノルテ地区	殺人	男性2人が家の前にいたところ、3人組が近寄り2人に向かって発砲。1人は即死、もう1人は重体である。銃撃を受けた2人は、どちらも前科があった。
6月22日	モンテビデオ県 ブセオ地区	殺人	2人の男性(33歳、61歳)がバイクの売買のため路上で会話をしていた際に、複数の男等が近寄ってきて暴行をした後、2人より現金10,000ペソを奪い逃走。逃走時に発砲した銃弾が61歳の男性にあたり、搬送された病院で死亡した。